

質屋から見た 深刻な生活世相

春來れど不景氣去らず 鍋釜類迄質草に

庶民階級唯一の金融機關として珍重されてゐる質屋から覗いた平地方昨今の景氣振り……第三層階級の人々の常得意としてゐた質屋さへも此の二三年先からは中流以上を内緒のお得意とする様になつて来た傾きがあるだけ入質品も相當高價のものが多い

絹物の 上等反物と

か貴金屬製品等は何處の質屋さんの蔵にも山積してゐる状態である。貸出しも其の日暮しの人々相手の時と違つて一口で五十圓百圓位はまだしも中には五百圓を貸して呉れと言ふやうな大口もあつて當業者の眼を白黒させることもある程だが、これは

平町の 二大銀行の

警備銀行の休業、平銀行の合併等に依り金融の不圓滑かゝつた現象で此の虚質屋さんも大繁昌大萬歳の形だが此れは裏面だけで一方の受出しの方を見ると其の日暮しの人々は質草も鍋釜類とか布團と言ふ様な其の日の生活に

必要な 物が大半で

あるだけ流石に受出しも早く金さへ出来れば直ぐ其日にでも受出すものもあるが中流以上からの質草になると

谷文平氏が死去後同校は暫らく名譽校長が缺員中のごころ今回本多忠綱氏を名譽校長に推戴する事となつた氏は同郡泉村出身本多忠見子爵の義兄に當り栃木、福

少年坑夫の影

數年の中には絶たう 女子への禁令はまだ

女子及び少年坑夫の坑内作業並びに深夜業禁止に關しては監督當局において各鑛業權者を督勵し極力これが促進につとめつゝある結果各鑛山とも着々その成績をあげてゐるが

礦業界は

一部鑛山を除くの外依然として不況つゞきのため大鑛山は兎も角小鑛山は採算上賃銀の高い男坑夫よりも賃銀の安い女子坑夫を使用するものが多く従つて

その成績

も比較的思はしくない殊に女子坑夫中には一度職を離れると再び就職することは勿論他に轉嫁することが困難な實状にあるため轉嫁又は歸農するものも従来より日に立つ



石炭の鑑別法 (上)

光澤で見ると一掃石炭の良否は炭素の含有量多少を標準として定められ

元郡會議室を
平署の移轉工事に充つ

平警察署は來る四月早々移轉工事着手の等で舊郡役所に屯ろする各種の公共團體では元郡役所會議室を改造して共同事務所に充てること

明日の豫氣天
北西の風
強く荒れ
模様

御眞影奉安庫 石城郡四ツ倉小學校では校庭に御眞影奉安庫を建設する事となり近く着工するが工費は二千圓である

少年坑夫 は近年著るしくその數を減じ、この數年内には全くその跡を絶つことなるかも知れない

慘狀を極める 農民の生活

一ヶ月の生活費タツタ十圓 三考すべきその實狀

現下全國農村は米價安と養蠶不振等に禍されて極度の疲弊困憊に陥つて居る、右に付き農林省はこれ等農村の

救済を 盡し各種の

方策を樹て、農村振興に努めてゐるが最近農村の生活實狀に就き中國地方の一府縣で詳細なる調査を行つた即ちその縣内に於ける生産價格は

收益は 約百二十圓

- 一、農産物五千八百五十七萬圓
- 一、林産物九百七十四萬圓
- 一、水産物七百四十五萬圓
- 一、工業物四千七百五十五萬圓
- 一、其他二千二百七十六萬圓
- 合計 一億一千八百八十七萬圓

となり農民は衣食住其の他の總ての生活費を月十圓程度でやつてゆかねばならぬといふ慘なる有様であるこれを以てしても現在の農民が如何に下級なる生活を強いられて居るか立證されるものである

最近の

趨勢は増加する生産収入よりも負擔の増加が多く稼げど稼げど尙貧乏が先廻りする云ふ生地獄にある従つて縣内に於ける諸産業生産状態では自給自足にさへ前途遠慮の事であり斯やうな状態の府縣は此の外にも全國的に可成り多い模様であるので其の救済案も却々至難なるもの

兎の耳

大石でペシヤンコ
力自慢が禍し
四谷區谷町一の一
九とび職遠藤繁

とされてゐる
共打倒れ、その下敷となつて即死を遂げた、遠藤は獨身で氣立もやさしくたゞ力自慢が持つて生れた病氣であつた

船舶業を招き
商港實現祝
小名濱大喜び

石城郡小名濱町では多年の懸案であつた商港も議會に於て豫算が通過したので實現が確實となつたので今月下旬町民祝賀大會を開催する計畫で來月は全國の船舶業者港灣關係者を招き同様祝賀會を催す豫定である